

事前質問内容

1. 昨年度まで報告されていましたがグラフ資料が届いていません。とてもわかりやすいと各委員、傍聴した方から好評でしたので今年もお願いします。
2. 観測井の設計は人が入り採水することが目的とされていましたが、今年度に入り下流井戸の酸素濃度が減少し、中に入れない状況になっています。原因と対策を教えてください。
3. 2年前の運営協議会で「大島のような大雨により、処分場に雨水が一杯になる、あるいは、処分場の水はけが悪くなるようなことが無いのか。」という質問がありましたが、今年の7月1日、八丈島では「大雨警報と土砂災害警戒情報」が発令されました。翌日解除されましたが、防災無線にて、「大雨の影響を受け大川浄水場の運転を一時的に止めております。回復の見込みは4日の午前中です。節水のご協力をお願いします。」と流れました。
資料によると7月の埋立はなかったようですが、処分場における当時の様子を処分場内で計測している降水量等の観測記録、現場写真、ビデオ動画で教えてください。
参考）雨水集配水施設の降雨強度は八丈島10年確率を採用。防災調整池の設計は、「調整池は計画地最下流に設置し、流域における30年確率降雨に見合うピーク流量以下に調整できる容量を確保」となっています。
4. 大雨に対する今後の対策のためにも、地盤改良後の地下水状況を把握するための調査実施をお願いします。
5. 地下水ピット管理をより円滑にするため、屋根の設置、低濃度空気の対策実施をお願いします。
6. 上流井戸底に置かれたバケツ内の水質調査は信頼性に欠けるので、より良い対応を検討願います。
7. 昨年の運営協議会で委員から、「同じ上流と下流の場所でいいから水のある層まで穴を掘って、新たに掘った井戸で上流と下流の水質検査結果を比べてほしい」との質問に、一組委員から、「持ち帰って、島嶼一組及び構成団体の各町村長に、要望があったこととお話する」と回答されましたが、その結果を教えてください。
8. フレコンバッグについて。素材、対応年数、使用管理方法について説明をお願いします。
9. 昨年、運営協議会等で説明された「八丈最終処分場における地下水と安全性について」で、P33の「生活環境影響調査における地下水親戚度合い」の地下水位記録はH20.6.23からH20.7.22のもので（地下水なし）と説明されています。生活環境影響調査で得られた一年間の地下水位変化を見ると、H19.9からH20.6までは地下水が「常時」確認されており、誤解を招きやすい説明となっています。正しい説明と、内容の修正をお願いします。（この件につきましては3月に開催された末吉での説明会で質問をしましたが、回答を得られていませんので改めて質問します。）（別紙参照）
10. 処分場内の焼却灰埋立量が増えるにつれて、処分場から流れる浸出水の汚れが水質調査値にあらわれています。処分場より三原山に排水される水をより綺麗にするために自主基準値の協議をお願いします。
11. 処分場の埋立期間17年については、生活環境影響調査の意見書見解回答、住民説明会、運営協議会での質問等で回答頂いてます。これまで同様約束をお願いします。
12. 会場内でのビデオ撮影はご遠慮願います。とのことですが問題があるのでしょうか？